

地域保健福祉推進協議会

第2回健康あだち21専門部会報告資料

平成30年10月30日

件名	平成30年度(6~9月)の熱中症による区内被害状況について																				
所管部課	衛生部衛生管理課																				
内容	<p>平成30年度(6~9月)の熱中症による区内被害状況について、下記のとおり報告する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 熱中症による区内被害状況(6~9月)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>区内救急搬送者数</th> <th>区内死亡者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>503人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>197人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>193人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(数値は各年度同時期の速報値)</p> <p>【参考】A-メール配信回数(暑さ指数速報の実測値が危険水準(WBG T 31度以上)に達した回数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A-メール配信回数 (6~9月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>34回</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>8回</td> </tr> </tbody> </table>		区内救急搬送者数	区内死亡者数	平成30年度	503人	15人	平成29年度	197人	1人	平成28年度	193人	3人		A-メール配信回数 (6~9月)	平成30年度	34回	平成29年度	24回	平成28年度	8回
	区内救急搬送者数	区内死亡者数																			
平成30年度	503人	15人																			
平成29年度	197人	1人																			
平成28年度	193人	3人																			
	A-メール配信回数 (6~9月)																				
平成30年度	34回																				
平成29年度	24回																				
平成28年度	8回																				

地域保健福祉推進協議会

第2回健康あだち21専門部会報告資料

平成30年10月30日

件名	住宅宿泊事業の状況について			
所管部課	衛生部 足立保健所民泊担当課			
内容	平成30年9月末現在の住宅宿泊事業(民泊)の状況について、以下のとおり報告する。			
	1 届出件数等(9月末日現在、7月18日付廃止1件を含む)			
	届出月	届出件数	受理件数	
	6月	20	16	
	7月	9	8	
	8月	8	10	
	9月	9	2	
	計	46	36	
	2 民泊施設の分布 資料2-1参照			
	3 相談件数及び相談内容			
	内容	件数	期間	
	物件での民泊の可否	46	平成30年3月15日 (民泊の事前受付開始日) ~平成30年9月30日	
	民泊の運営について	8		
	民泊制度について	36		
	届出手続きについて	138		
	合計	228 件		
4 苦情等				
(1) 件数				
	内容	件数	対応完了	対応継続中のもの
	区民等からの無届民泊の疑いの通報	58	36	22
	騒音・ゴミ出し等の苦情	12	12	0

(2) 上記の無届民泊の疑いの通報の対応完了の内訳 (印の数値の内訳)

友人・知人等の宿泊 (民泊ではなかった)	10件
無届の民泊施設だったが、指導後、届出したもの	5件
旅館業の許可済み物件	5件
指導により無届民泊を中止	16件

5 届出事業者の指導状況

(1) 法定標識の掲示実態調査

民泊施設であることを示す標識 (届出受理時に区から事業者に交付) の掲示の有無や掲示方法が誤っていないか現地調査を行った。

調査期間及び対象民泊施設数

調査期間 平成30年6月末～8月末 延べ6日間

実態調査数 31 (8月29日までに届出を受理していた施設)

調査結果

21の施設で標識を掲示してなかった、又は法定以外の標識を掲示していた。

調査結果の内訳

項番	調査結果	施設数
1	標識が掲示されていた施設	10
2	標識が掲示されていなかった施設	18
3	法定以外の標識が掲示されていた施設	3

上記2・3の民泊施設の事業者に対し、口頭や文書で指導警告し、正しく掲示されていることを確認した。

今後の対応

対象	内容
既に営業中の民泊施設	標識の掲示が適切に行われているか毎年調査する。
新規に民泊を開始した施設	開始から1か月程度を目安に標識の掲示について確認を行う。
民泊を止めた施設 (廃止届を提出)	他の施設で悪用されないよう標識を回収する (7月18日付廃止分は回収済み) 。

(2) 民泊事業者からの定期報告に関する指導

民泊事業者に対して、法令で2か月に一度、偶数月に宿泊者数や宿泊日数等の報告が義務付けられている。今回、民泊新法施行後、初めての定期報告となるため、次の指導を行った。

指導内容及び指導結果

項目	内容	指導結果
定期報告の催促	平成30年8月初旬に、文書と電話で民泊事業者に対し、報告期限内(平成30年8月15日)の提出を催促した。	全ての事業者が遅滞なく報告をした。
報告内容の指導	全ての報告を点検し、記述漏れや宿泊日数の宿泊日数等の算定間違い等の内容の誤りについて、個別に指導し、是正させた。	是正指導の結果、全ての事業者の報告が正しい内容になった。

報告の集計結果

報告の対象期間 平成30年6月15日(民泊新法施行日)
～平成30年7月31日

報告事業者数 24(今回の報告義務の対象は、平成30年7月までに届出を受理した事業者)

宿泊者数、宿泊日数等

項目	数値
全民泊施設の宿泊日数の計	262 日
全民泊施設の宿泊者数の計	247 人
全民泊施設の延宿泊者数の計	813 人

国籍別宿泊者数上位5カ国

順位	国籍	人数
1	中国	88
2	日本	31
3	韓国	17
4	米国	16
5	台湾	14

今後の予定

届出どおりの運営が成されているか、年度内に民泊施設への実態調査(立

入調査)を実施する。

調査の際は、宿泊者名簿の整備状況に重点におき、名簿が適正に整備されているか、名簿の内容と定期報告の内容に相違がないか(宿泊日数、宿泊人数等)等を中心に確認を行う予定。

6 無届民泊の疑いがある施設(住宅)について

無届民泊の疑いがある施設については、以下の手順で、調査や指導を行い、合わせて警察等の関係機関と連携している。

通報、インターネット等で無届民泊の疑いのある施設の情報を入手
(平成30年9月末現在、57件の情報を入手)



旅館業法に基づく現場調査・事実確認を行う。

- ・施設の現況確認を目的に現場調査(上記の57件中27件実施)
- ・施設所有者の確認を目的に法務局で施設の記載事項証明を取得(上記の57件中33件実施)
- ・施設所有者に事実確認の文書を送付(上記の57件中33件実施)



上記57件を含む情報を入手した施設について、無届民泊と確認でき次第、以下の指導対応を行う。

- ・事業を中止し、許可申請や届出を行う等の是正を指導する。
- ・観光庁を通じ、当該施設のネット上の情報の削除を要請する。



指導に従う

営業を中止し、許可申請又は届出を行う。



指導に従わない

無届のまま営業を継続、許可申請や届出も行わない。



警察に情報提供し、連携して対応



概ね3回以上の指導に従わない。

告 発

7 問題点今後の方針

届出済みの民泊施設については、法令に基づいた適正な運営が行われるよう、引き続き指導監督を行うとともに、無届の民泊施設については、警察や観光庁等と連携して、民泊事業を中止させる等し、民泊制度の健全な育成を図っていく。

民泊施設位置図(廃止分を除く)

平成30年9月末現在



地域保健福祉推進協議会

第2回健康あだち21専門部会報告資料

平成30年10月30日

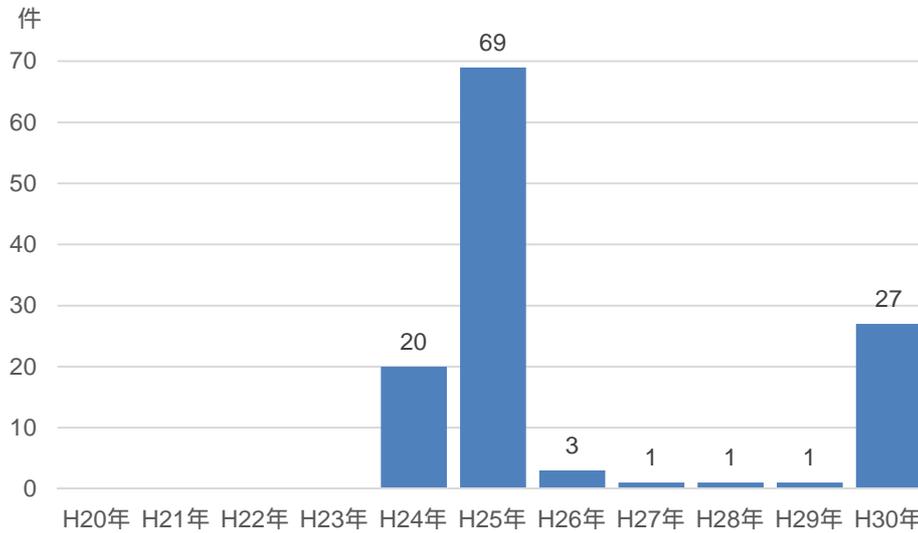
件名	平成30年度風しん緊急対策事業について												
所管部課	衛生部足立保健所 生活衛生課、保健予防課 中央本町地域・保健総合支援課												
内容	<p>風しんの流行に伴い、事業目的を変更し、蔓延防止対策を緊急に実施する。 なお、国は2020年までに風しんの排除を目標としている。</p> <p>1 事業目的 (1) 現行 先天性風しん症候群対策 (2) 変更後 風しんの蔓延防止対策(風しんの排除)</p> <p>2 変更内容 別紙1のとおり</p> <p>3 風しん患者届出件数(別紙2参照) 今年は9月に入り報告数が急増し、平成26年以降、最も多い報告数となっている。</p> <table border="1"> <caption>風しん患者届出件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H27年</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H28年</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H29年</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>	年度	件数	H26年	3	H27年	1	H28年	1	H29年	1	H30年	27
年度	件数												
H26年	3												
H27年	1												
H28年	1												
H29年	1												
H30年	27												

風しん対策事業一覧

	現行事業	平成30年11月～平成31年3月
事業目的	先天性風しん症候群対策	風しんの蔓延防止 (風しんの排除)
事業対象者	妊娠を希望・予定している 19歳から49歳の女性	19歳以上の男女
抗体検査	毎月第4木曜日 定員20名	<p>【平成30年11月から12月】</p> <p>毎月第4木曜日 定員25名 毎月第3土曜日 定員60名</p> <p>【平成31年1月から2月】</p> <p>毎月第2木曜日 定員15名 毎月第4木曜日 定員20名 毎月第4土曜日 定員60名</p> <p>【平成31年3月】</p> <p>毎月第2木曜日 定員15名 毎月第4木曜日 定員20名 毎月第3土曜日 定員60名</p>
予防接種助成	事業対象者のうち 風しん抗体価が低い者	

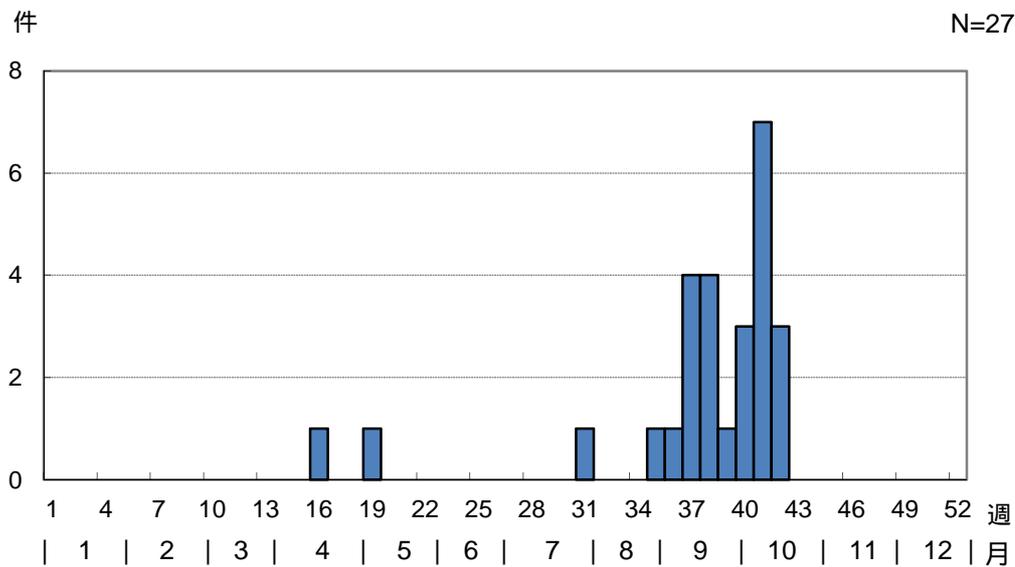
足立区内 風疹発生状況

1. 年別報告数



風疹は平成 20 年より全数届出となりました。平成 30 年は第 42 週時点(10 月 21 日まで) で 27 件の届出があります。

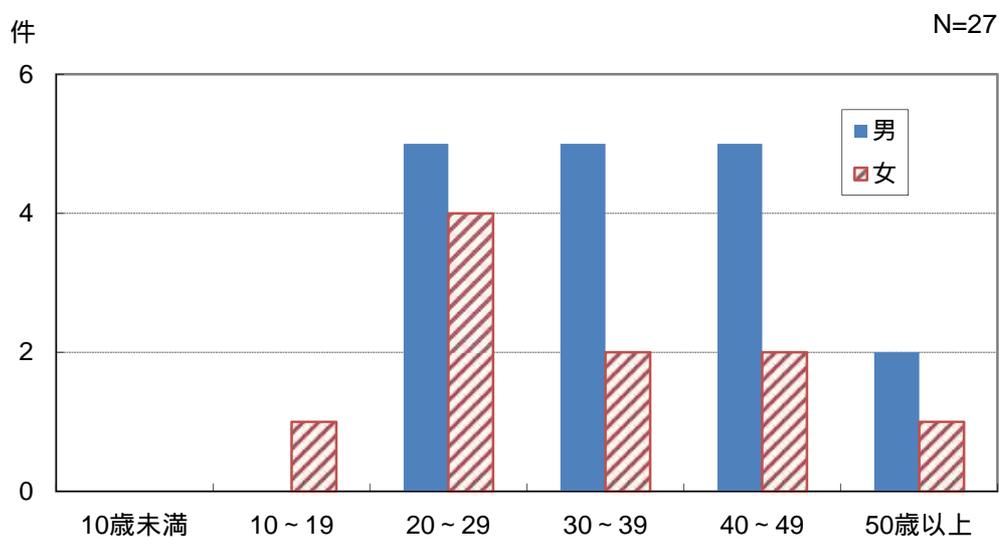
2. 平成 30 年週別報告数



平成 30 年は 9 月から報告が集積しています。

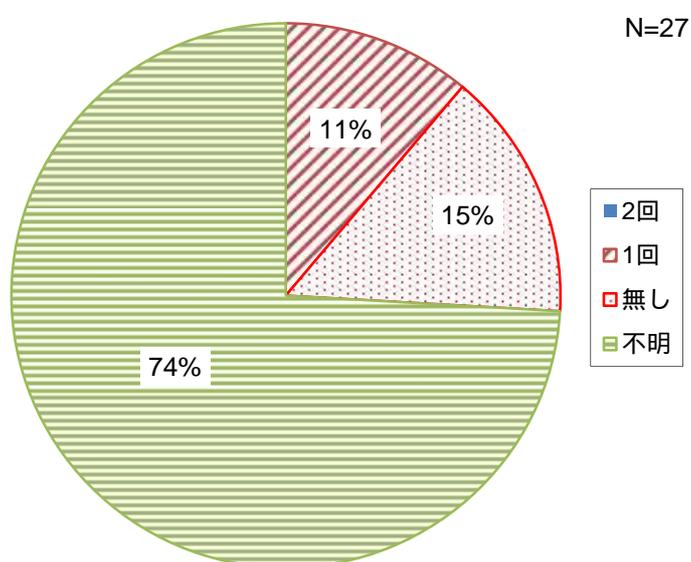
(出典 : 感染症発生動向調査)

3. 平成 30 年年齢階級別・性別報告数



平成 30 年に届け出られた患者の年齢は、20 代から 40 代が多く（中央値 37 歳、範囲 18 歳～60 歳）、男女比は 17 : 10 でした。

4. 平成 30 年報告症例ワクチン接種歴



平成 30 年に届け出られた患者のワクチン接種歴は 1 回 11%、無し 15%、不明 74%です。

（出典：感染症発生動向調査）

第2回健康あだち21専門部会報告資料

平成30年10月30日

件名	平成30年度「あだちっ子・いい歯推進園表彰事業」の実施について												
所管部課	データヘルス推進課												
内容	<p>「足立区糖尿病アクションプラン・歯科口腔保健対策編」の取り組みの一環として、「あだちっ子歯科健診(4~6歳)」や「規則正しい食習慣・歯みがき習慣づくり」等に積極的に取り組んでいる幼稚園および保育園(所)を募集・表彰するとともに、優れた取り組みを表彰・広く紹介する『あだちっ子・いい歯推進園表彰事業』を実施した。</p> <p>1 応募園数 49園(29年度42園) 【内訳】私立幼稚園(6)、区立保育園・認定こども園(19) 私立保育園(公設民営を含む)(24)</p> <p>2 審査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>賞</th> <th>園名</th> <th>取り組み例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区長賞</td> <td>私立聖保育園</td> <td>0歳児から給食後の歯みがきを開始し、0~5歳全園児に職員が仕上げみがきをする。また、園児と一緒に、むし歯予防の掲示物を作成・掲示するなど、園全体でむし歯予防に取り組んでいる。</td> </tr> <tr> <td>教育長賞</td> <td>区立梅田保育園</td> <td>年少児以上は、職員が仕上げみがきをする。正しい姿勢で食べることや、おいしく楽しい食事の形態「梅田レストラン」など、基本的な習慣づくりに取り組んでいる。</td> </tr> <tr> <td>足立区歯科医師会長賞</td> <td>区立いりや第二保育園</td> <td>年少児以上の必要度の高い子どもから、職員が仕上げみがきをしている。「大人向けの歯科教室」を開催するなど、保護者の意識を高める取り組みを実施している。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【優秀賞】10園 【奨励賞】36園</p> <p>3 表彰式 平成30年10月20日(土) 歯のポスターコンクール表彰式と同日</p> <p>4 表彰園の紹介 区公式ホームページ、リーフレットの配布(全保育施設・幼稚園・こども園・小学校)、パネル展示等で紹介する。(別添資料参照)</p> <p>5 実施主体 足立区・足立区教育委員会・公益社団法人東京都足立区歯科医師会共催</p>	賞	園名	取り組み例	区長賞	私立聖保育園	0歳児から給食後の歯みがきを開始し、0~5歳全園児に職員が仕上げみがきをする。また、園児と一緒に、むし歯予防の掲示物を作成・掲示するなど、園全体でむし歯予防に取り組んでいる。	教育長賞	区立梅田保育園	年少児以上は、職員が仕上げみがきをする。正しい姿勢で食べることや、おいしく楽しい食事の形態「梅田レストラン」など、基本的な習慣づくりに取り組んでいる。	足立区歯科医師会長賞	区立いりや第二保育園	年少児以上の必要度の高い子どもから、職員が仕上げみがきをしている。「大人向けの歯科教室」を開催するなど、保護者の意識を高める取り組みを実施している。
賞	園名	取り組み例											
区長賞	私立聖保育園	0歳児から給食後の歯みがきを開始し、0~5歳全園児に職員が仕上げみがきをする。また、園児と一緒に、むし歯予防の掲示物を作成・掲示するなど、園全体でむし歯予防に取り組んでいる。											
教育長賞	区立梅田保育園	年少児以上は、職員が仕上げみがきをする。正しい姿勢で食べることや、おいしく楽しい食事の形態「梅田レストラン」など、基本的な習慣づくりに取り組んでいる。											
足立区歯科医師会長賞	区立いりや第二保育園	年少児以上の必要度の高い子どもから、職員が仕上げみがきをしている。「大人向けの歯科教室」を開催するなど、保護者の意識を高める取り組みを実施している。											

地域保健福祉推進協議会

第2回健康あだち21専門部会報告資料

平成30年10月30日

件名	小中学校での取り組みについて
所管部課	学校運営部学務課
内容	<p>1 6月「もりもり給食ウィーク」の取り組みについて 6月の食育月間にあわせて、1週間に適正な食べる時間の確保と食育の充実の両面から、子どもたちの食に対する意識や食べる意欲向上を図るため、各学校で工夫をこらした取り組みを実施しました。</p> <p>(1)実施期間 平成30年6月18日(月)～22日(金)</p> <p>2 「給食メニューコンクール」の実施結果について</p> <p>(1)テーマ 自分の苦手食材を使った、おいしい給食メニューを考えよう! 今年は自分(または家族、友人)の苦手な物も食べられるような給食メニューを考えよう。</p> <p>(2)応募期間 夏休み期間中</p> <p>(3)応募総数 7,072点 (内 訳)小学生 4,324点 中学生 2,748点 【参考】前年度 応募総数:6,835点 小学生 4,366点 中学生 2,469点</p> <p>(4)表彰式 小・中学生受賞作品各10作品を表彰。 10月26日(金) 区役所8階 特別応接室</p> <p>3 小児生活習慣病予防健診について 対象者:中学2年生および前年度要医療者、要経過観察者 ヘモグロビンA1c検査結果が正常値以上の中学生 実施日:平成30年10月9日～10月19日に各学校で実施 検査内容:血液検査、血圧測定、肥満度測定</p>

<血液検査の内容>

- ・貧血（赤血球数、血色素量、赤血球容積比）
- ・血清脂質（総コレステロール、
HDL - コレステロール、
LDL - コレステロール）

4 全小・中学校での歯みがきの実施について

全小・中学校において、全学年・毎日実施を目指す

<平成29年度 全学年・毎日歯みがき実施状況>

小学校：50校 / 69校 中学校：4校 / 35校

地域保健福祉推進協議会

第2回健康あだち21専門部会報告資料

平成30年10月30日

件名	平成30年度「糖尿病月間」の実施について																											
所管部課	衛生部こころとからだの健康づくり課																											
内容	<p>毎年、11月14日は「世界糖尿病デー」であり、その日を含む12日～18日は全国糖尿病週間として、日本各地で様々な糖尿病啓発活動が行われる。</p> <p>これに併せ、足立区では11月を糖尿病月間として、特に20代～30代の若い世代が自分の身体の状態を知り、糖尿病のリスクを考え、保健行動を始める機会を作るため、「食べて予防、測って予防、学んで予防」をテーマに、以下のイベント等を実施する。</p> <p>1 食べて予防 「そうだ、あだちベジタベライフ協力店へ行って、ヘルシーメニューを食べよう！」 内容 1食500kcal 台で、野菜120g以上、塩分3g未満のヘルシーメニューを下記の11店舗で提供</p> <table border="1" data-bbox="466 1256 1347 1890"> <thead> <tr> <th data-bbox="466 1256 1137 1314">場所</th> <th data-bbox="1141 1256 1347 1314">実施期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="466 1319 1137 1355">・シーフードレストランメヒコ（区役所14階）</td> <td data-bbox="1141 1319 1347 1355">11/12(月)～</td> </tr> <tr> <td data-bbox="466 1359 1137 1395">・区役所地下食堂（北館地下1階）</td> <td data-bbox="1141 1359 1347 1395">16(金)又は</td> </tr> <tr> <td data-bbox="466 1400 1137 1435">・ギャラクカフェ西新井店（栗原1丁目）</td> <td data-bbox="1141 1400 1347 1435">11月1か月間</td> </tr> <tr> <td data-bbox="466 1440 1137 1476">・一粒の麦（花畑4丁目）</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="466 1480 1137 1516">・あすカフェ（花畑4丁目）</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="466 1520 1137 1556">・Green Cafe&Bar（西新井本町5丁目）</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="466 1561 1137 1597">・カフェ コペ（江北3丁目）</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="466 1601 1137 1637">・スーパーTANAKA旭町本店（千住旭町26）</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="466 1641 1137 1677">・With Green（千住3丁目）</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="466 1682 1137 1718">・イタリアン・トマト カフェジュニア</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="466 1722 1137 1758">東京電機大学店（千住旭町5）</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="466 1762 1137 1798">・cafe ひつじ食堂（中川4丁目）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		場所	実施期間	・シーフードレストランメヒコ（区役所14階）	11/12(月)～	・区役所地下食堂（北館地下1階）	16(金)又は	・ギャラクカフェ西新井店（栗原1丁目）	11月1か月間	・一粒の麦（花畑4丁目）		・あすカフェ（花畑4丁目）		・Green Cafe&Bar（西新井本町5丁目）		・カフェ コペ（江北3丁目）		・スーパーTANAKA旭町本店（千住旭町26）		・With Green（千住3丁目）		・イタリアン・トマト カフェジュニア		東京電機大学店（千住旭町5）		・cafe ひつじ食堂（中川4丁目）	
場所	実施期間																											
・シーフードレストランメヒコ（区役所14階）	11/12(月)～																											
・区役所地下食堂（北館地下1階）	16(金)又は																											
・ギャラクカフェ西新井店（栗原1丁目）	11月1か月間																											
・一粒の麦（花畑4丁目）																												
・あすカフェ（花畑4丁目）																												
・Green Cafe&Bar（西新井本町5丁目）																												
・カフェ コペ（江北3丁目）																												
・スーパーTANAKA旭町本店（千住旭町26）																												
・With Green（千住3丁目）																												
・イタリアン・トマト カフェジュニア																												
東京電機大学店（千住旭町5）																												
・cafe ひつじ食堂（中川4丁目）																												

2 測って予防

(1) 区役所1階アトリウムでの糖尿病週間イベント「測定会」

日時：11/13(火)～11/15(木)午前10時～午後3時

場所：区役所地下1階

ヘブ` 吡` ` A1c 測定は14日(水)のみ

「あなたのヘブ` 吡` ` A1c いくつですか？」

59歳以下の区民で糖尿病治療を受けていない方を対象とした指先穿刺による簡易血糖測定・ヘブ` 吡` ` A1c 測定

「あなたの筋肉量、体脂肪量測ってみませんか？」

体組成測定

(2) 区内10薬局でのヘブ` 吡` ` A1c 測定

糖尿病と診断されていない方を対象にしたヘブ` 吡` ` A1c 測定

測定の結果、ヘブ` 吡` ` A1c 値6.5%以上の区民には、医療機関へ受診勧奨

(3) 東京電機大学との連携

健康フェスタ

「カラダ測定コーナー」の実施、ヘブ` 吡` ` A1c 測定、体組成測定、かむカムチェック等

日時：11/16(金)12時30分～午後6時30分

場所：東京電機大学2号館1階

「野菜からかむカム」で早食い防止キャンペーン

野菜たっぷり(200g以上)の噛みごたえのあるランチを提供

日時：11/16(金)午前11時30分～午後1時30分

場所：東京電機大学学生食堂

(4) L・フェスタ

59歳以下の区民で糖尿病治療を受けていない方を対象とした指先穿刺による簡易血糖測定・ヘブ` 吡` ` A1c 測定

日時：11/11(日)午前10時～午後3時30分

場所：エル・ソフィア1階 体育館

3 学んで予防
保健センター等における主な取り組み

日時	内容	担当
11/7(水) 11/22(木)	健康増進教室【2日制】 「赤ちゃんが教えてくれた糖尿病予備群の方へ」	竹の塚保健センター
11/30(金) 12/7(金)		千住保健センター
11/14(水)	食生活講演会 「糖尿病予防するならベジ・ファースト」	千住保健センター

4 広報・周知

- (1) あだち広報 10/25号
- (2) チラシ配布(10,000部作成)
区民事務所、保健センター、駅スタンド等で配布
- (3) ポスター掲示(750部作成)
住区センター、図書館、医療機関、薬局等で掲示
- (4) Aメール配信、区ホームページ掲載

第 2 回健康あだち 2 1 専門部会報告資料

平成 3 0 年 1 0 月 3 0 日

件 名	平成 3 0 年度「食育月間」の取り組み結果について								
所管部課	衛生部 こころとからだの健康づくり課 広報室 シティプロモーション課 学校運営部 学務課 子ども家庭部 子ども施設指導・支援担当課								
内 容	<p>6 月は国の定める食育月間である。今年度の食育月間も「ちょい増し野菜」をテーマに、野菜をおいしく楽しく食べる取り組みを実施した。特に、あだちベジタベライフ協力店や保育園、学校、地域と連携し、子どもや若い世代を中心に啓発を行った。</p> <p>1 あだちベジタベライフ協力店での取り組み</p> <p>(1) “ちょいサラ” グランプリ等でのメニュー提供</p> <table border="1" data-bbox="475 1039 1318 1236"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>“ちょいサラ” メニューの提供</td> <td>12 店舗 568 食</td> </tr> <tr> <td>食育月間特別メニューの提供</td> <td>23 店舗 4,566 食</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>35 店舗 5,134 食</td> </tr> </tbody> </table> <p>(29 年度 : 延 32 店舗 4,403 食)</p> <p>“ちょいサラ” メニュー・食育月間特別メニューを食べた方にアンケート実施 回収枚数 1,209 枚 アンケート結果は、資料 7 - 1 を参照</p> <p>“ちょいサラ” グランプリとは、250 円又は 500 円に価格を統一して、お店独自のサラダメニューを競うコンテスト。グランプリ各賞については、審査会で選考の上、9 月 30 日 (日) に開催した北足立市場まつりで表彰式を行った。(各賞の結果は、次頁参照)</p> <p>(2) 食べてちょい得！スタンプラリー</p> <p>“ちょいサラ” メニューを食べてスタンプを 2 個集めた方に、ベジタベマグカップをプレゼント 104 個配付</p>	内 容	実 績	“ちょいサラ” メニューの提供	12 店舗 568 食	食育月間特別メニューの提供	23 店舗 4,566 食	合 計	35 店舗 5,134 食
内 容	実 績								
“ちょいサラ” メニューの提供	12 店舗 568 食								
食育月間特別メニューの提供	23 店舗 4,566 食								
合 計	35 店舗 5,134 食								

“ちょいサラ”グランプリ審査結果一覧

各 賞	店 舗 名	住 所
グランプリ	Green Cafe&Bar	西新井本町 5-1-8
準グランプリ	トラットリア イル・セイ	千住桜木 2-5-9
特別賞	糸の木れすとらん	西加平 2-7-15Lynx 六町
	シーフードレストラン メヒコ足立区役所店	中央本町 1-17-1 区役所 南館 14 階
激励賞	ボンマルシェ ボンテ	竹の塚 1-13-16 フラット竹の塚 1F
	キッチンホトリ	竹の塚 6-5-3-101
	ギャラリーとお料理とお酒 はくせん	綾瀬 5-14-1
	和食屋 赤兵衛 綾瀬西口店	綾瀬 1-38-1 大橋ビル 1 階
	魚菜酒 赤兵衛 綾瀬東口店	葛飾区小菅 4-11-8 ハコポ 2 階
	c a f e ひつじ食堂	中川 4-9-19
	うるま島ターチ	千住 3-53 エピドルージュ 1 階
	Cielo Azzurro	千住 2-65

2 区内青果店（北足立市場）との連携

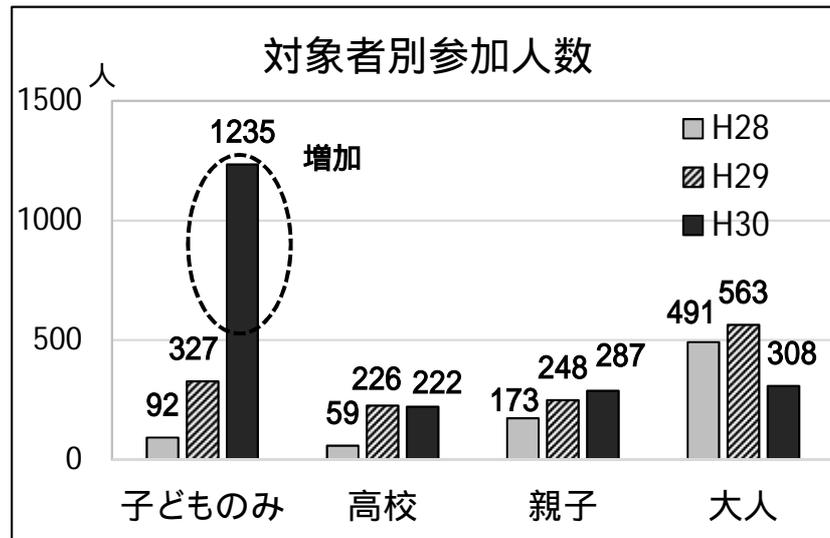
ベジタライフ協力店に登録している青果店 30 店舗で、野菜を購入した方を対象にベジタベ エコバックをプレゼント
各店舗先着 20 名に、計 600 枚を配付

3 主な料理体験教室・講演会

内 容	参加者
学童保育室での料理教室 【住区推進課・保健センタ】	子ども 334 人
親子向け野菜料理教室 【地域学習センター等】	親子 235 人 子ども 705 人
高校生対象 出張朝ごはん教室 【保健センター】	高校 3 年生 222 人
食べる！楽しむ！学ぶ！ベジタベ教室 【北足立市場協会協力】	親子 26 人 大人 26 人

合計 43 教室 参加者 2,052 人

（29 年度：36 教室 1,364 人）



昨年度に比べ、教室数・参加者数ともに大幅に増加した。特に、学童保育室、幼稚園、ギャラクシティ等で子どもを対象にした教室を数多く実施した。

4 企業との連携

(1) セブン&アイグループとの連携

セブン イレブン・ジャパン

- ・オーナー向け勉強会にて、あだちベジタベライフの取り組みと食育月間への協力依頼を実施
- ・各店舗のサラダや惣菜の棚に、ちょい増し野菜の啓発ポップや「ちょい増しレシピ」カード等を設置

イトーヨーカ堂

- ・区栄養士考案「やさい100グラムレシピ」を店頭に設置
- ・クッキングサポート(調理を実演するライブキッチン)のある一部店舗で、「やさい100グラムレシピ」の調理を実演

セブン&アイ・フードシステムズ(デニーズ)

- ・店頭にのぼり旗やポップを掲出

(2) 他の企業との連携

北千住マルイ

- ・地下食品売場やキッチンガーデン 350 等で、啓発ポスター、ポップ、のぼり旗等を掲出
- ・紀伊國屋書店、東急ハンズ等で特設コーナーを設置

外食チェーン店やスーパーとの連携

- ・ライフコーポレーション、吉野家、すかいらーくグループ、日高屋、大戸屋等の店舗で卓上ポップやのぼり旗等を設置 8社 60店舗

足立成和信用金庫との連携

- ・各支店で、食育月間啓発ポスターやリーフレットを掲出 21 店舗
- ・営業職員向け勉強会にて、ベジタベライフ協力店の募集について協力依頼 参加者 85 名

5 その他の主な事業

- (1) おいしい給食「ひと口目は野菜から」啓発チラシの配布
私立幼稚園 51 園 約 9,000 部
- (2) おいしい給食「野菜の日」及び「もりもり給食ウィーク」の実施
区立保育園 31 園、小・中学校 104 校
- (3) 小松菜の栽培・調理体験
区立保育園 31 園、私立保育園等の一部

6 その他の啓発

- (1) 区ホームページ、Aメール、クックパッドで、簡単野菜レシピを配信 計 7 回
- (2) フェイスブックで、ベジタベライフ協力店のメニューや料理教室等を配信 計 32 回
- (3) 食育月間パネル展示
足立区役所アトリウム、ギャラクシティ

7 プレゼント企画の実施

ベジタベライフ協力店や教室に参加してアンケートを答えた方に、抽選で豪華景品をプレゼント

- ・野菜の詰め合わせ 10 名（北足立市場協会協力）
- ・一人暮らし ちょい増し野菜応援グッズ（調理器具等） 10 名
- ・ベジタベライフグッズ 30 名

8 今後の方針

今後も区民の野菜摂取量の増加に向けて、ベジタベライフ協力店や民間企業等と協働し、野菜摂取の少ない若い世代が気軽に野菜を摂取できる環境整備を行う。また、凝った料理を覚えるよりも簡単であってもバランスのとれた食生活を可能とする実践力＝「あだち 食のスタンダード」の定着を、おいしい給食推進事業と連携して進めていく。

平成 30 年度 6 月食育月間

あだちベジタベライフ協力店特別サービスメニュー アンケート結果

1 アンケート実施期間・回収枚数・対象店舗

【実施期間】平成 30 年 6 月 1 日～30 日

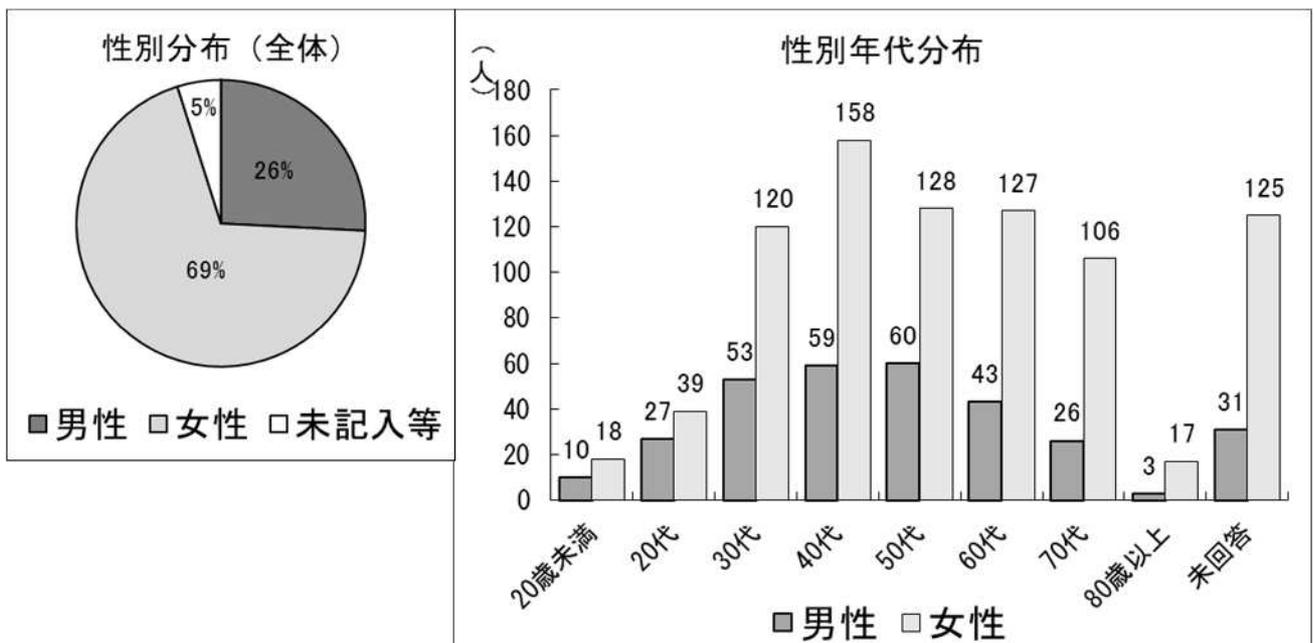
【回収枚数】1,209 枚（前年比-225 枚）

【対象店舗】協力店 35 店舗

2 結果

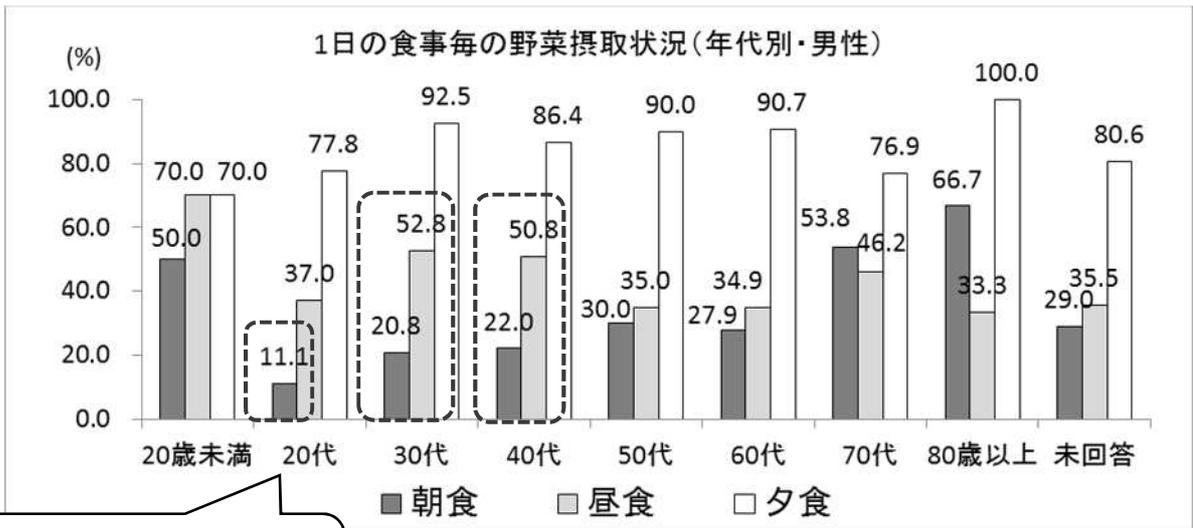
(1) 回答者の性別・年代層は、男性が約 25%、女性が約 70%で、年代別では 30 代～50 代が多かった。

特別メニュー提供（年代別・男女別）

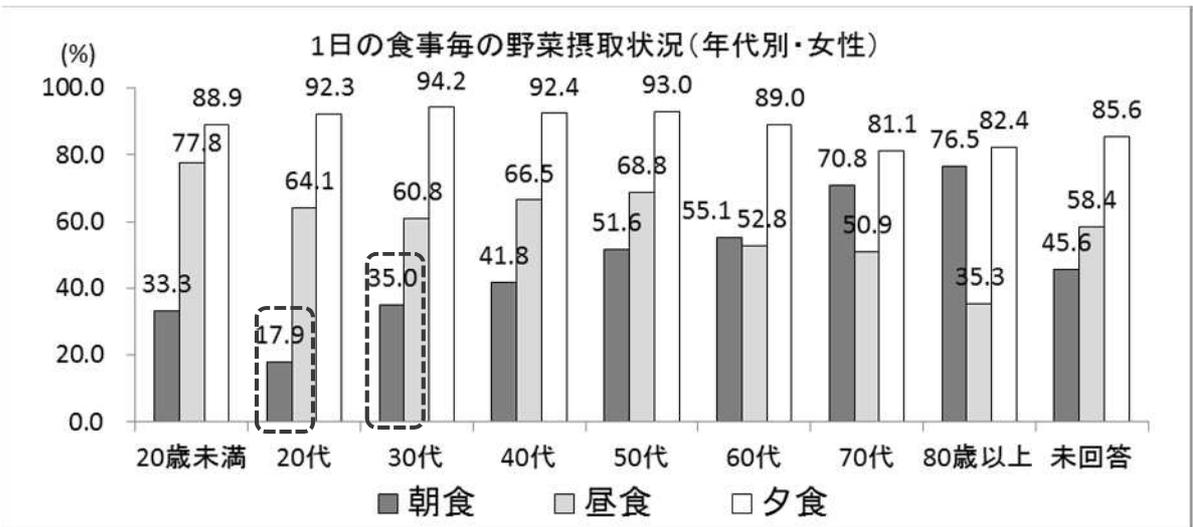


(2) 1日3食野菜を食べているかを確認したところ、若い世代では朝食の野菜摂取率が低く、高齢者では昼食の野菜摂取率が低かった。

男性の年代別の回答を見ると、20-40代で朝食での野菜摂取割合が低かったが、30-40代では昼食での野菜摂取割合が高かった。女性では、20・30代で朝食での野菜摂取割合が低かった。若年者の野菜摂取を促すために、朝食で野菜を食べやすい環境づくりに力を入れていく必要性が浮かび上がってきた。

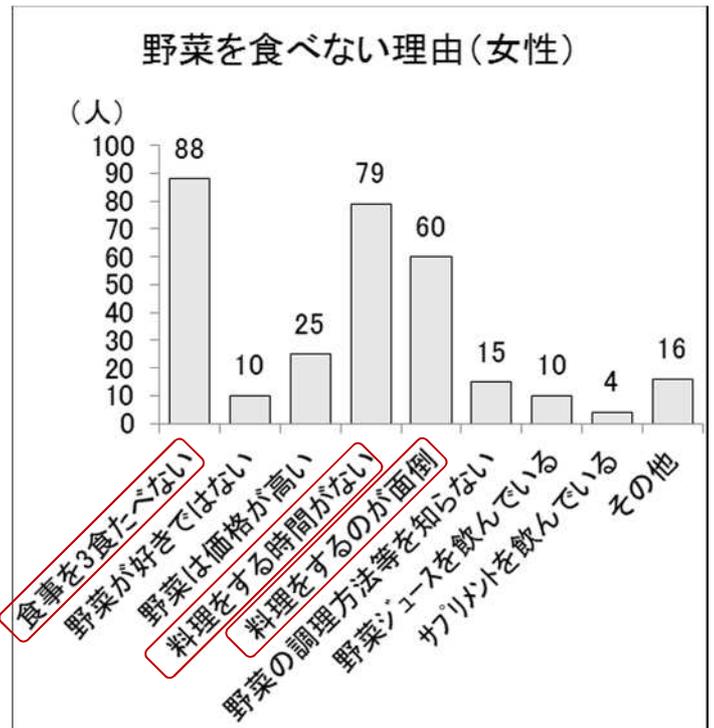
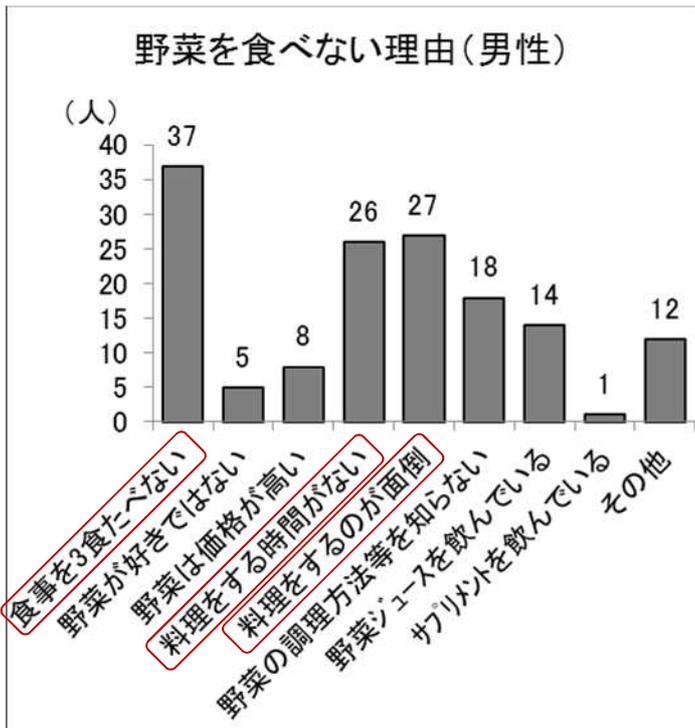


20代～40代男性は、朝食の野菜摂取が少ない



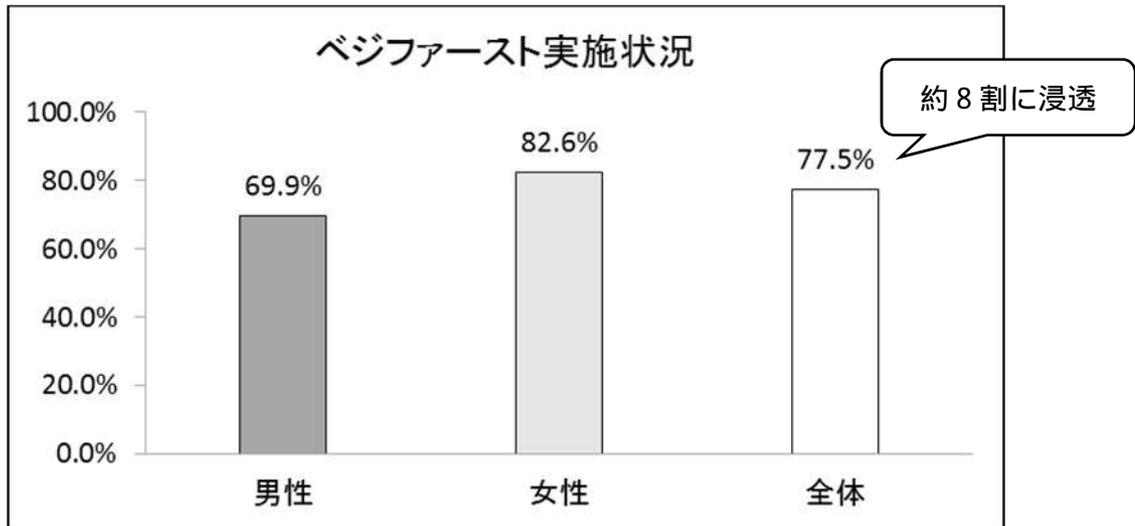
(3) 1日に1食以上野菜を食べない人に、「野菜を食べない理由」を質問したところ、「食事を3食たべていない」が最も多く、次いで「料理をする時間がない」「料理をするのが面倒」が多かった。

食事を3食たべていない対象者の多くは朝食欠食であることが予想されることから、3食たべることの重要性（特に朝食）の普及啓発や、簡単レシピの普及に引き続き取り組んでいく必要がある。



(4) ベジ・ファーストは、全体の約8割が実践している。

男性で70%、女性で80%以上と、男性の浸透率が低く、男性の実践状況を改善していく必要がある。(参考値：世論調査：66.3%) ベジタベライフ協力店からの啓発や「ひと口目は野菜から」を通した子どもから保護者への拡散を進める。



(5) 来店前の食育月間キャンペーン認知は、男性で約3割、女性で約4割強であった。

キャンペーンを知ったきっかけをみると、男性ではポスターが最も多く、女性ではチラシが多かった。また、女性では「その他」の回答が多く、口コミなどの人づてにより広がった可能性が考えられる。

きっかけを知った場所・機会を尋ねたところ、男女ともに区施設(役所、保健センターなど)経由での認知が最も多かった。

